

## 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 福島県・福島市 】

学校名【 福島市立福島養護学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部：5-1 (5人), 6-1 (2人) 中学部：1-1 (4人), 2-1 (4人), 3-1 (4人) 3-2 (4人) 高等部：1-1 (8人), 2-1 (7人), 2-2 (7人) 3-1 (5人), 3-2 (7人)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体育科 総合的な学習の時間 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	○ オリンピック・パラリンピックが開催される意義や背景を学び、国際理解やスポーツを楽しむ心を育てる。 ○ 専門的なボッチャの指導を通して、コミュニケーションの大切さとボッチャの技能を高める。
5 取組内容	【事前学習】 ○ 「I'm POSSIBLE」を活用してオリンピック・パラリンピックの意義や背景を調べたり、学んだりする活動を行った。 ○ 体育の時間での、ボッチャやフライングディスク競技の実践を通して、他学年と交流したりパラスポーツを楽しんだりした。 【ボッチャ体験教室】 アジアユースパラリンピックアシスタントコーチの國分章夫氏を招き、ジャックボールへの投げ方やチーム内でのコミュニケーションの大切さについて学んだ。



【事後学習】

ボッチャ体験教室で感じたことやオリンピック・パラリンピックについて学んだことを新聞にまとめた。



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピック・パラリンピックのことは知っていたが、詳しく知らなかった児童生徒も、世界で活躍するパラアスリートのことを学んだことで、日々の生活の励みとなった。</li> <li>○ これまで体育の時間等で親しんできたボッチャであったが、競技に対する見方が変わり、ボッチャをより身近のものと感じられるようになった。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボッチャやフライングディスクなど、「パラスポーツ」に普段から親しんでいたが、競技をより身近なものと感じられるようにした。</li> <li>○ 近隣の特別支援学校に勤める方に、ボッチャ体験教室の講師をお願いしたことで、連絡調整をスムーズに行えるようにした。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボッチャ競技に必要な道具を、体験人数に合わせて準備する。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでと違うパラスポーツの体験を通して、パラスポーツの持つ魅力や価値に触れられるようにする。</li> </ul>